

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) **Б. И. Горошников (1971)** : 「Петрология высокоглиноземистых кристаллических пород докембрия Украины (ウクライナ地方先カンブリア系高アルミナ結晶質岩の岩石学)」、ナウコバドウムカ出版所, 209p., 図34, 表33, 文献 124, 22 × 14.5 cm, UDC 552.42: 549 + 551 (71 + 72) (477) (露文)

珪線石・藍晶石・紅柱石・鋼玉を含有した結晶質岩(変成岩)の標記地方における分布規則性, 変成作用, 初成の性質の問題を取り扱ったモノグラフ。

高アルミナ岩の詳細な地質学的, 岩石学的, 鉱物学的特徴を記載し, 構成鉱物の化学的性質と諸変成岩の組成・生成条件との関係を論じている。タイプ・オフセット版。

目 次

第1章 研究概史

第2章 高アルミナ岩区の地質

ポプーシュスカヤ鉱床群 プリアゾフ鉱床群 鉄鉱磁気異常区の鉱床 クリボイログ
-クレメンチューク鉱床群 スーシチャン-ペルジヤン区

第3章 高アルミナ変成岩の岩石学的記載

ポプーシュスカヤ区 プリアゾフ区 鉄鉱磁気異常区 スーシチャン-ペルジヤン区

第4章 主要構成鉱物の記載

第5章 高アルミナ岩の初成性質について

第6章 高アルミナ岩変成作用

第7章 先カンブリア紀における高アルミナ岩の空間的分布の規則性

2) **Ж. С. Ержанов 編 (1971)** : 「Прикладные задачи механики горных пород (岩石力学の応用課題)」、カザフ共和国ナウカ出版所, 215p., 26 × 17 cm (露文)

目 次

Ж. С. Ержанов ほか2 : 褶曲作用の数理論上の新問題, p. 3 ~ 36, 図7, 表4, 文献15.

К. К. Каирбаев : 球体貫入岩中の熱弾性張力について, p. 37 ~ 42, 文献11.

А. К. Егоров ほか1 : シュブロン褶曲の成長の性質について, p. 43 ~ 49, 表4, 文献1.

И. А. Гарагащ : 不均一成層層群の主要張力状態の解析, p. 50 ~ 67, 図2, 文献9.

Д. О. Дияров ほか1 : 厚層中における水と石油の接触部の運動方程式の解答について, p. 68 ~ 73, 図5, 文献8.

Ж. С. Ержанов ほか2 : 斜坑の張力状態と変形状態, p. 74 ~ 104, 図7, 表6, 文献20.

К. К. Кайдаров, В. П. Матвеева : 水平坑内の非緻密結合単層体の張力状態, p. 105 ~ 118, 図4, 表4, 文献11.

А. Я. Синяев : 横断岩体等方体斜面の割れ目の平衡について, p. 119 ~ 125, 図2, 文献6.

К. К. Кайдаров : 非緻密結合単層体を伴った山塊中の立坑の張力状態, p. 126 ~ 131, 図1, 表4, 文献5.

Ш. М. Айталиев ほか1 : 自然立坑四周の不等性岩体の耐久性計算, p. 132 ~ 137, 図2, 表2, 文献7.

М. Т. Тусупов : 非緻密結合単層体からなる岩体の剛性の決定によせて, p. 138 ~ 141, 文献5.

Ж. С. Ержанов ほか1 : 大きな弾性変形からみた坑道四周の岩体の漸動, p. 142 ~ 152, 図2, 文献8.

М. Т. Алимжанов : 単一岩体内立坑の径の決定について, p. 153 ~ 160, 図1, 文献11.

- O. A. Байконуров ほか1: 超音波法による破砕岩帯の研究, p. 161 ~ 169, 図3, 文献6.
C. Ю. Каринский: 面変形時における連続張力域内のルーズな媒体の静力学的課題の解決, p. 170 ~ 175, 図1, 表1, 文献8.
M. K. Тубаев: 水平層沿いに掘進する坑道の弾性・張力状態の研究によせて, p. 176 ~ 185, 図3, 表4, 文献11.
П. Ф. Сабодаш: 運動作用に対する物理的非線形面の挙動について, p. 186 ~ 191, 図1, 文献2.
Ю. Н. Серегин: 直角方向の間隙を有する弾性面の応力, p. 192 ~ 200, 図1, 文献3.
Ю. А. Онищенко ほか1: 岩体パラメータ分布函数式について, p. 201 ~ 205, 文献11.
Н. С. Саилов ほか1: 非線形弾性媒体中の球状波分布, p. 206 ~ 210, 文献6.
Г. Г. Кулиев: 有隙物理的非線形薄層の張力状態, p. 211 ~ 215, 図3, 文献11.

3) В. В. Гречухин (1970): 「Геофизические Методы исследования угольных скважин (炭層の地球物理学的研究法)」, ネードラ出版社, 545p., 図298, 表25, 文献228, 25 × 18 cm (露文)

目次

第1部 夾炭層岩石の物理的性質

第1章 堆積物と堆積岩の变成作用の地質学的要素

第2章 岩石物理学

- §1 密度と孔隙率 §2 比電気抵抗 §3 自然電気化学活性 §4 強制電気化学活性
§5 弾性波伝播速度 §6 放射能 §7 熱的性質 §8 機械的性質

第3章 夾炭層岩石の物理的性質の分布変化の規則性

- §9 夾炭層岩石の物理的性質変化の層位学的規則性 §10 夾炭層岩石の物理的性質変化の広域的規則性 §11 地向斜型夾炭盆地堆積層の典型的岩石物理的断面 §12 夾炭層岩石の物理的性質変化の局部的規則性

第4章 石炭鉱床の岩石学的分類, 石炭とその母岩との共存関係

- §13 石炭鉱床の岩石学的分類 §14 石炭とその母岩との共存関係

第2部 電気検層法

第5章 インピーダンス法

- §15 インピーダンス法の物理的原理 §16 標準検層の選択 §17 炭層研究の方法論
§18 石炭側岩の研究 §19 インピーダンス・ダイアグラムの歪み §20 微検層法

第6章 集束検層法

- §21 概説 §22 有効抵抗の測定 §23 集束検層パラメータの選択 §24 炭層研究への集束検層の利用

第7章 岩石の比電気抵抗測定法

- §25 側面電気検層概説 §26 側面電気勾配検層 §27 側面電気ポテンシャル検層
§28 検層最終強度・最大曲線グラフ解析法

第8章 岩石の比電気抵抗近似決定法

- §29 インピーダンス・ダイアグラムによる岩石比電気抵抗直接決定法 §30 分離ダイアグラムによる炭層比抵抗の決定 §31 集束検層有効抵抗ダイアグラムによる炭層比抵抗の決定
§32 漸近抵抗法 §33 透導インピーダンス法

第3部 放射能その他の地球物理的検層法

放射能検層法概説

第9章 自然ガンマ線法と放射性同位体法

- §34 ガンマ線強度の測定 §35 炭層とその側岩の研究へのガンマ線法の利用 §36 同位体法

第10章 分散ガンマ線法

- §37 概説 §38 分散ガンマ線強度の測定 §39 試錐柱状断面での炭層記録へのガンマ-ガンマ線法の利用 §40 岩石密度の測定 §41 選択ガンマ-ガンマ線法 §42 ガンマ-ガンマ線法曲線の歪み
- 第11章 中性子検層法
§43 中性子-中性子法 §44 中性子-ガンマ線法 §45 誘導活化法 §46 新放射能法
- 第12章 温度測定と抵抗測定
§47 温度測定 §48 抵抗測定
- 第13章 気体定量と岩石試料の選択
§49 気体定量 §50 岩石試料の選択
- 第14章 機械的方法
§51 鑿孔時間法 §52 空隙測定 §53 音響法
- 第15章 伏角測定と勾配測定
§54 伏角測定 §55 勾配測定
- 第4部 地球物理的ダイアグラムの総合的解釈
- 第16章 試錐断面の堆積岩石学的細分と炭層区分
§56 試錐断面中の炭層区分 §57 試錐断面の堆積岩石学的細分
- 第17章 試錐断面の対比と構造断層の解明
§58 試錐断面の対比 §59 夾炭層断面の岩石物理学的対比法 §60 構造断層の解明
- 第18章 地層の深度・厚さの測定法
§61 炭層深度の決定 §62 側岩堆積層の厚さの決定 §63 炭層の厚さの決定 §64 厚さの決定に対する地層の傾斜角の影響 §65 地層の厚さ測定値における工学的誤差 §66 炭層の厚さ測定による地球物理的研究結果と試錐・坑道掘りデータとの比較
- 第19章 炭層の構造の研究
- 第20章 石炭の灰分の研究
§67 石炭の主な品質指数と岩芯によるその決定 §68 岩芯による炭層灰分の測定 §69 地球物理学的データと岩芯データによる石炭灰分の測定 §70 比電気抵抗による炭層灰分の測定 §71 放射能測定法による炭層灰分の測定 §72 地球物理学的的方法による炭層灰分の総合的決定
- 第21章 岩芯と地球物理的方法による石炭の品質指数の測定
§73 岩芯による石炭の品質指数の測定 §74 地球物理的方法による石炭の品質指数の測定
- 第22章 石炭の地球物理的検層法の合理的組合せ
§75 通常条件下における石炭検層研究法 §76 地球物理的検層石炭研究法の有効性 §77 複雑な条件下における石炭検層研究法
- 第23章 石炭鉱床探査時における無岩芯試錐
- 第24章 地球物理事業の組織化と地球物理資料の有効利用
§78 試錐による地球物理事業の実施とその組織化 §79 地球物理的検層結果の質的評価 §80 埋炭量計算に対する地球物理資料の活用

4) Г. М. Власов 編 (1971) : 「Вулканические серные месторождения и некоторые проблемы гидротермального рудообразования (火山性硫黄鉱床と熱水鉱化作用の諸問題)」, Наука 出版所, 357 p., 図 185, 表50, 文献 452, 27 × 18 cm (露文)

目次

- 第1章 硫黄鉱床の分類とその中での火山性硫黄鉱床の位置
第2章 極東ソ連領内の火山性硫黄鉱床の研究史
第3章 極東ソ連領および隣接諸国の火山性硫黄鉱床
カムチャツカ半島およびクリル列島

南クリル硫黄鉱床域 中クリル硫黄鉱床域 北クリル硫黄鉱床域 南カムチャツカ硫黄鉱床域
中カムチャツカ硫黄鉱床域 北カムチャツカ硫黄鉱床域 東カムチャツカ硫黄鉱床域

極東ソ連領大陸地方

ブリネラ岬付近の硫黄鉱床 沿海州南部テルネイ湾付近の硫黄鉱床 プリアムール下流地区の硫黄鉱床 北東辺区の硫黄鉱床

東アジアの隣接諸国

日本 インドネシア ニュージーランドと南太平洋の島々

アンデス山脈・コーディレラ山脈・カリフォルニア・メキシコ

チリー アルゼンチン ボリビア ペルー エクアドル コロンビア ベネズエラ

コスタ・リカ ガテマラ その他の南アメリカ・中央アメリカ諸国 メキシコ

アメリカ

アリューシャン列島

地中海褶曲帯

第4章 火山性硫黄鉱床の空間分布の規則性と生成期

第5章 火山起源硫黄鉱の種類、その組織と構造

交代鉱床の鉱石

塊状・鉱染交代鉱石 網状鉱染-細脈鉱石 「スィーパーチュカ」鉱石 (ルーズな昇華-交代鉱石)

火口湖鉱床の鉱石

現世火口湖の硫黄泥 緻密質成層鉱石 (被続成硫黄泥)

噴気孔・温泉の表成硫黄沈殿層

沈殿硫黄と集塊岩状沈殿鉱 昇華硫黄と集塊岩状昇華鉱 再熔融硫黄と再熔融硫黄を伴った集塊岩状鉱石

第6章 火山性硫黄の結晶形態

斜方晶系 α 硫黄

単斜晶系 β 硫黄

単斜晶系 γ 硫黄

火山性自然硫黄と外因性自然硫黄の結晶形態上の相違点

火山性自然硫黄の結晶作用の諸特徴

第7章 火山性硫黄鉱床の成因

火山地域のガスと温度

本問題研究の現状 マグマ・エマネーションの分化方向に関する問題の分析 マグマ・エマネーションの一般的分化過程と温泉成分組成の変化過程 火山ガスと火山性温泉の成因的分類

各種火山性硫黄鉱床の生成作用

ガスと溶液からの硫黄の地表性沈殿 火山での硫黄流の生成 火口湖底における硫黄の沈殿 鉱染-交代鉱床の生成

自然硫黄-熱水造鉱作用の最終生成物

現世火山区の研究にもとづく鉱化作用の諸問題について

鉱石と変質岩の累帯配列 酸性溶脱過程と鉱石沈殿過程との相関関係 内因性鉱床の分類原則について

第8章 地表近辺での硫黄の酸化と硫黄鉱体の分解

硫黄鉱体の溶脱断面とその構造 硫黄鉱石の溶脱過程とその微生物活動との関係

第9章 火山性硫黄鉱床の実用価値とその開発利用法

鉱床の規模と火山帯における硫黄賦存性の展望

新着資料の紹介 (資料室)

鉱床研究法, 採掘法, 鉱石処理法
概査 精査 探鉱 硫黄鉱の採掘 硫黄鉱の処理
火山ガスからの硫黄採取の展望
硫黄鉱と共生する他の鉱物資源の有効利用
硫化鉄鉱 明礬石 石膏と硬石膏 重晶石 粘土 珪岩 褐鉄鉱 金紅石
結語

5) **В. Г. Сагунов (1971)**: 「Геология агрономических руд Казахстана (カザフ共和国肥料原料鉱床の地質学)」, カザフ共和国ナウカ出版所, 192 p., 図32, 表19, 文献 120, 27 × 18 cm (露文)

目次

- 第1章 カザフ共和国の肥料原料鉱石の研究状況
第2章 磷酸塩鉱物資源
1. 磷酸塩鉱の層位的所属, 含磷灰土層盆地の地質構造, 大型磷灰土鉱床の地質構造
A. 地向斜性磷灰土
B. 白堊紀・古第三系卓状磷灰土
C. 鉄鉱・バナジン鉱・カーボナタイト中の磷灰土およびその他の磷酸塩鉱物
2. カザフ共和国の主要磷灰土鉱床区の構造地質学的位置
3. カザフ共和国の磷灰土・磷酸塩鉱床の成因的分類
4. 含磷酸塩層系の分布規則性と主要造岩成分の比較
5. 磷酸塩資源に関する総括
第3章 カリ鉱物資源, 窒素鉱物資源, マグネシア鉱物資源, 硫酸鉱物資源
第4章 微量元素——植物成長促進剤——とその原料産地
第5章 石膏——含塩土壌改良の効果的材料
第6章 バーミキュライト
カザフ共和国の肥料原料鉱開発・利用の展望

6) **В. Л. Барсуков 編 (1971)**: 「Геохимия гидротермального рудообразования (熱水鉱化作用の地球化学)」, ナウカ出版所, 228 p., 21.5 × 14 cm (露文)

目次

- V. I. Gerasimovskii の業績
В. Л. Барсуков: 熱水鉱床鉱石構成物質の起源問題について, p. 21 ~ 29, 文献10.
Н. А. Дурасова: 塩化物メルト・珪酸塩メルト間における錫と鉛の分布, p. 30 ~ 34, 表1, 文献11.
Т. М. Суцевская: 気液包有物の分析データによる含錫熱水溶液の化学組成の比較研究, p. 35 ~ 60, 図2, 表9, 文献24.
Г. Б. Наумов, О. Ф. Миронова: 瀝青ウラン鉱-炭酸塩脈生成作用に対する炭酸ガスと酸素濃度の影響, p. 61 ~ 77, 表4, 図10, 文献18.
Р. О. Радкевич: 北カフカス地方の主要多金属鉱床の場合の熱水鉱化作用の温度条件, p. 78 ~ 90, 図14, 文献19.
С. А. Бородин: 熱水鉱床生成温度の指標としての黄鉄鉱のスクリュウ状結晶とモザイク状結晶, p. 91 ~ 105, 図16, 文献14.
Б. И. Малышев: 母岩の熱水変質時における交代反応のタイプ, p. 106 ~ 120, 図4, 表2, 文献31.
С. М. Александров: 実験研究による硼酸塩鉱の地球化学的生成条件, p. 121 ~ 128, 図1, 表1, 文献19.
И. Б. Дьячкова: 第二酸化鉄鉱物中における V と Fe の類質同像混合について, p. 129 ~ 134, 図1, 表3, 文献27.

- С. В. Козеренко : 低温時と高温時における硫化鉄の生成条件の実験的研究, p. 135 ~ 146, 図2, 表6, 文献27.
- И. В. Александров, Т. А. Трусикова : カーボナタイト生成過程中的のニオブの地球化学によせて, p. 147 ~ 153, 図2, 表3, 文献7.
- Л. А. Синькова : アルカリ炭酸塩媒体中での稀土類元素の挙動と分離作用について, p. 154 ~ 161, 図5, 表1, 文献17.
- О. В. Брызгалин : 酸性熱水溶液からのタングステンの移動と沈殿の可能性について, p. 162 ~ 166, 文献10.
- Г. Ф. Иванова : 熱水溶液からの鉄重石の沈殿条件について, p. 167 ~ 172, 図3, 文献8.
- Н. Н. Баранова : 熱水過程における鉛の物理化学的移動条件, p. 173 ~ 196, 図5, 表10, 文献79.
- Н. Н. Колпакова : 硫化物溶液中における Sb^{+3} の賦存形態について, p. 197 ~ 209, 図1, 表7, 文献10.
- Э. И. Сергееваほか2 : 熱水鉱床における硫化砒素の生成条件, p. 210 ~ 222, 図3, 表5, 文献18.

7) **Г. ф. Крашенинников (1971)** : 「Учение о фациях (堆積相学)」, ПУИСШЯЯ シュコーラ出版所, 365 p., 図100, 表9 (露文)

目次

第1部 堆積相。「相」の概念発展史. 最近の堆積相の概念.

第1章 「堆積相」の概念の発生と発展.

第2章 堆積相学の内容と使命 文献52.

第2部 陸成層

第3章 陸上における堆積作用の条件と陸成層の分類

第4章 残留生成体

第5章 山腹・山麓堆積層 (崩積層・崖錐層)

第6章 氾濫原堆積層

第7章 河川堆積層

第8章 湖沼・沼沢堆積層

第9章 湧泉・カルスト堆積層

第10章 氷成堆積層

第11章 砂漠地方堆積層コンプレックス

第12章 陸上火山堆積層

第13章 黄土とその生成問題 文献155.

第3部 海成層

第14章 海洋における堆積作用の特徴と海成堆積層の分類

第15章 海の生物と成因解析のための海棲生物の意義

第16章 海浜成層

第17章 浅海成層

第18章 礁成層

第19章 半遠洋性堆積層

第20章 深海成層

第21章 異常塩度海成層

第22章 海底火山堆積層 文献123.

第4部 陸上-海洋移過帯の堆積層

第23章 三角洲堆積層

第24章 潟・溺れ谷堆積層 文献53.

第5部 堆積相と構造地質との関係

第25章 堆積相と地殻の脈変動

第26章 堆積相と褶曲構造・断裂構造との関係

第27章 堆積相と地殻の大構造単元との関係 文献47.

第6部 成因解析の基礎

第28章 成因解析の総則

第29章 堆積岩石学的特徴の研究

第30章 生物の化石と生活痕の研究

第31章 同期堆積層の地域変化の研究と堆積相共生関係の解明

第32章 成因解析結果の集約. 堆積相図・古地理図と説明書の編集

第33章 成因解析の実用的価値 文献 227.

8) **А. И. Тугаринов 編 (1971)**: 「Геохимия, петрология и минералогия щелочных пород (アルカリ岩の地球化学, 岩石学, 鉱物学)」, ナウカ出版社, 207 p., 26 × 17 cm (露文)

目 次

В. В. Щербина: 疲れを知らぬ研究者—V. I. Gerasimovskii, p. 3 ~ 6

О. А. Воробьева: 霞石閃長岩マグマの化学的性質について, p. 7 ~ 16, 図2, 表2, 文献11.

Л. С. Бородин: 超塩基性岩・アルカリ岩・カーボナイト複合山塊中のマグマ分化アイヨライトとアイヨライト化作用, p. 16 ~ 33, 図15, 表2, 文献19.

В. А. Кононова: メルテイジャイト-ウルタイト岩系生成時におけるマグマ分化作用と交代作用の役割について, p. 33 ~ 52, 図4, 表4, 文献28.

И. Д. Рябчиков: アグパイト質マグマの生成時における尖晶石分別作用の役割について, p. 52 ~ 56, 図7, 文献16.

Л. Н. Когарко: 天然高アルカリ系におけるマグマの平衡, p. 57 ~ 71, 図1, 表2, 文献54.

Л. Л. Перчук: 玄武岩質マグマのカーボナタイト化作用生成物としてのカーボナタイト, p. 72 ~ 77, 図3, 表1, 文献30.

В. М. Валяшко: ピリオーマイト生成条件の物理化学的特徴, p. 77 ~ 85, 図3, 表1, 文献42.

А. С. Павленко, В. Н. Быховер: Монголь-Тзпэр-アルカリ花崗岩類生成区とその起源と地球化学の諸特徴, p. 86 ~ 120, 図17, 表5, 文献22.

Я. М. Фейгин: 層状貫入岩マグマ・メルトの容量減少の岩石学的意義について, p. 120 ~ 128, 図1, 表3, 文献14.

О. Б. Дудкин: アイヨライト-ウルタイト山塊における後マグマ性変質, p. 129 ~ 141, 図3, 表5, 文献29.

Ю. А. Балашов: コラ半島アルカリ岩類中の稀土類元素の地球化学によせて, p. 142 ~ 158, 図9, 表4, 文献40.

И. А. Петерсилье, Х. Серенсен: グリーンランドのイリマウサク山塊岩石中の炭化水素ガスと瀝青物, p. 159 ~ 173, 図3, 表6, 文献6.

Б. И. Злобин, М. Н. Фарафонов: アルカリ貫入岩系中における銅の分布と鉱床成因論, p. 173 ~ 183, 図2, 表1, 文献13.

И. В. Буссенほか2: ロボゼロ山塊の造岩霞石, p. 184 ~ 200, 図5, 表4, 文献26.

Л. С. Агафонникова: 北部天山地方の幾つかの山塊の閃長岩中におけるバデレイイトの発見について, p. 200 ~ 203, 表2, 文献14.

9) **Г. Э. Нарвайт (1971)**: 「Послемагматическое минералообразование и оруденение Западных Мугуджар (西ムゴジャール地方の後マグマ性鉱化作用)」, カザフ共和国ナウカ出版社, 112

p., 図18, 表16, 文献 58, 26 × 17 cm (露文)

目次

西ムゴジャール地方の地質構造と内因性鉱床分布の諸特徴
西ムゴジャール地方の噴出岩類中の後マグマ性鉱化体の共生関係と生成順序
 広域造進自変成作用の鉱物共生関係
 接触変成作用の鉱物共生関係
 熱水性先鉱化期交代作用の鉱物共生関係
 熱水性後鉱化期交代作用の鉱物共生関係
側岩の変質と銅鉱体
 銅-ニッケル-硫化鉄フォーメーション
 含銅硫化鉄鉱歪フォーメーション 含銅硫化鉄鉱-磁鉄鉱歪フォーメーション
 銅-金-モリブデンフォーメーション
 銅-輝水鉛鉱歪フォーメーション 銅-金歪フォーメーション
変成岩および交代岩の岩系と相
 緑色岩岩系
 側岩岩系 (および鉱体)
 沸石-炭酸塩岩系
結語

10) **G. Pedro (1964)**: Contribution a l'étude expérimentale de l'altération géochimique des roches cristallines (結晶質岩石の地球化学的風化作用の実験的研究), の露訳版「Экспериментальные исследования геохимического выветривания кристаллических пород」(1971), ミール出版所, 251 p., 図66, 表 159, 文献 303, 26.5 × 17.5 cm (露文)

目次

第1部 基礎実験. 純水の作用下における岩石の風化
 第1章 実験の基本条件
 第2章 風化実験生成物の研究. 風化残留固相の研究
 第3章 風化実験生成物の研究. 風化濾液の研究
 第4章 岩石分解過程の一般的特徴. 岩石組成の役割
第2部 各種条件下における岩石の風化実験
 第5章 物理化学条件の変化. CO₂ 存在下での風化
 第6章 硫化水素と酢酸の存在下での風化
 第7章 水力学的条件と温度条件の変化
第3部 実験研究の結果
 第8章 風化過程に関する実験データの総括
 第9章 土壌生成作用の主な法則について
 第10章 実験研究と堆積岩石学上のその意義. 外因的地質過程の地球化学的バランス
結語
付録: Ж. Педро и Ж. Беррье: カオリナイト風化作用の実験結果と水の作用下におけるそのペー
 マイト転移について, p. 237 ~ 240
 Ж. Педро: 岩石の地表風化時における各種累帯化過程の地球化学的特徴について, p. 241 ~ 244.
 Ж. Педро и Ж. Беррье: ブルーサイト Mg(OH)₂ の珪酸塩化過程の実験的研究, p. 245 ~ 247.
 Ж. Педро и Ж. Любен: 連続浸透条件下におけるアルモ珪酸塩組成ゲルの変質について: 残留
 生成物としてのペーマイトとギブサイトの生成に対する風化作用要素の影響, p. 248 ~ 251.